

昌子の広場 第37報 特集号

2004年8月

和泉市無所属市民派議員

小林昌子

和泉市緑ヶ丘2-13-10

自宅 Tel(Fax) 0725-54-2626

事務所 Tel(Fax)0725-53-4451

Email masakokob@yahoo.co.jp

http://masako-hiroba.info/

ホームページもご覧下さい

yahoo の小林昌子で検索出来ます



4年間のあゆみ 新人議員奮闘記

目次	
・私の思い	P1
・初当選からの活動記録	P2-4
・小林昌子プロフィール	P4

みんなで創ろう新しい街！

つらいつらいつらの声が生かされるまちづくりを！

長引く景気にようやく明るい兆しが出てきましたが、地方や中小企業はまだ厳しい状況で日本社会を覆っている不安感は払拭されていません。

世界では主権が委譲された後も続くイラクの混乱、ようやく家族の帰国が実現されたものの予断を許さない隣国北朝鮮など厳しい国際情勢が今もって続いています。人道支援の名の下に派遣された自衛隊は、イラクの混乱で撤退が相次ぐ中、多国籍軍に参加する選択を行いました。人道支援、国際貢献の名の下でなし崩しに事が進んでいるようで心配でなりません。

国内では参議院選が終わり自民党の敗北、民主党の躍進の結果となりました。小泉首相の国民から遊離した感覚、中途半端な年金改革等一向に進まない構造改革に国民がNoの判断を下したものとええましよう。

一方和泉市はトリベル和泉の発展による人口増加、税収増の流れに変化の兆しが見えます。税収は減少に転じ、借金である市債の残高が増加し、蓄えに当たる基金が急激に減少しています。和泉市も近隣他市と同様厳しい財政運営が避けられない状況に突入しています。

高齢化の進展等もあって行政への期待はますます高まっていますが、このような限られた財政では市民の皆様の要求に全て答えることはもはや不可能となっています。施策の優先度が問われています。又全てを行政に期待するのではなく市民自ら何が出来るかを考えなければならぬ時代ともいえましよう。

一方行政にあっては不要不急な施策に貴重な税金を使うことは絶対にあってはなりません。その点から私は市に対して財政の中期見通しを策定させ、歳出削減のため身近な事では納税貯蓄組合の補助金の全廃、職員健康保険組合への補助削減、選挙事務費の削減等を提言し、更に無駄な事業の横綱である泉州東部農用地整備事業、榎尾川ダムの見直しを強く求めてきました。市民の皆様には自分の税金の使われ方にもっと関心を示して下さい。それが行財政改革に大きな力となります。

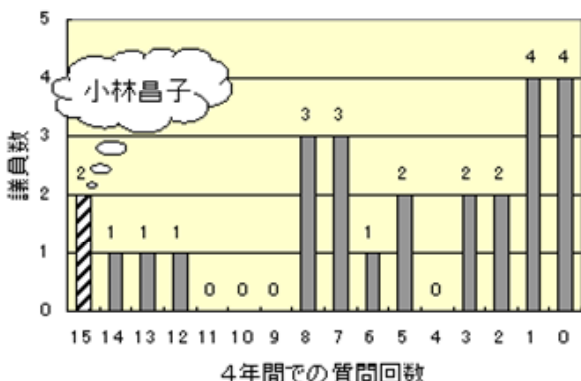
昨年コスモボリス開発に絡む汚職が摘発されました。市政をチェックする立場の議員としてこのような事が起きたことに責任を感じています。議会も含め市政は市民の信頼無くしては成り立ちません。私は新人議員として初めて議会に入り、市民の皆様に理解されるより、身近な議会が今求められていることを痛感しています。

微力ながら今後精一杯努力してまいりますので、「」指導の程よろしくお願いいたします。

初当選からの活動記録

初当選以来全ての議会（定例会）で質問を行いました。議会は議論の場であるとの私の信条に基づくものです。一般質問を中心に今までの活動をテーマ別に整理しました。

議員の一般質問回数



無駄な公共事業の見直し

私が議員に立候補した最大のテーマが槇尾川ダムの見直しです。このダムはそもそも不要であり、緑を破壊し、素晴らしい自然が残る施福寺の参道を水没させるダム計画を数度にわたって質問をしました。

始まった止められない公共工事を相手に、はかばかしい進展はありませんが今後もねばり強く続けていきます。同時に



和泉市の山麓に泉州東部農用地整備事業が行われています。山地の緑を削り道路を作り橋を架ける壮大な無駄が行われています。これについても見直しを強く求めています。

<定例会発言>

- ・槇尾川ダムについて(00.9、00.12、01.06、02.06、02.09、02.12、03.03、03.06、03.12、04.06の計10回)
- ・泉州東部農用地について(01.12、03.12の2回)

環境問題

NPO 法人大阪環境カウンセラー協会の一員として省エネ実験教室の開催など啓発活動を行うと共に、

毎年開催される環境自治体会議に出席し、環境行政の有り様を勉強しています。又大阪府の地球温暖化防止対策推進委員にもなり、地球規模の環境問題にも取り組んでいます。和泉市においてはゴミ問題や資源循環型社会の実現、屋上緑化等を提言しています。



- ・合成洗剤の使用について(00.09)
- ・資源循環型社会の構築に向けて(01.03)
- ・自転車道について(01.06)
- ・環境自治体を目指して(02.06)

子ども達の教育問題

学習塾を経営していた関係もあって、予てより次世代を担う子ども達の教育について大きな関心を持っています。

和泉市の実情をつぶさに把握するため、2年間かけて和泉市の小学校、保育所(公立、私立)の全てを見学しました。それを基に少しでも良い教育環境が実現するよう提言を行っています。



今年府中駅近くの踏切で、小学生と列車の接触事故が起こりました。お母様から直接お手紙を頂きました。一時重体となったお子さんは奇跡的に回復しましたが通学路の安全対策の必要性を痛感しています。

- ・入学説明会の保育について(01.03)
- ・保育所、幼稚園、学校給食の現状について(01.09)
- ・幼稚園、保育所、小学校の施設管理と運営について(02.09)
- ・少人数学級、学校全面禁煙、トイレ消臭について(03.06)
- ・子ども達の健やかな育成のために 有害紫外線対策、給食への陶磁器の導入について等(03.09)
- ・子ども達の安全について(03.12)
- ・子ども達の健やかな成長のために(04.06)

福祉問題

福祉の実態を勉強し実践するため、ホームヘルパー2級を取得し、地域の福祉の専門家や介護センターの経営者を交えた介護保険の勉強会をシリーズで開催。又福祉の先進市である鷹ノ巣町、上越市等を視察し

福祉行政のありようをつぶさに勉強し、市政に反映しました。

・ふれあい配食、ふれあい

食事サービスについて(14 予算)

・精神障害者地域生活支援センターについて(14 予算)



財政問題

財政問題は市政に携わるようになって、初めて関心を持ったテーマです。シティープラザ、新霊園等相次ぐ大規模な箱物の建設で市民サービスは向上したものの、財政状況は確実に悪化しています。

今まで市は中期的な財政見通しを公表していませんでした。先々の見通しのないままの事業展開は禍根を残すとして、市に財政の中期見通しの策定を要求し実現しました。更に財政の健全化のため既得権化している補助金の削減を始め、無駄な出費を徹底して削減するよう市に要求しました。納税貯蓄組合の1000万円近い補助金を全廃したなど多くの成果をあげることが出来ました。

又職員互助会の第2の退職金問題は、市民には到底理解されない制度でこれについて質しました。この第2の退職金問題は裁判所で違法の判決が出ており、現在互助会が控訴中で、裁判の結果が注目されます。

- ・和泉市の財政の現況と見通しについて(01.12)
- ・中期財政見通しについて(03.03)
- ・歳出削減について(03.03)
- ・職員健康保険組合への補助問題について(03.03)
- ・職員互助会問題について(04.06)



市政全般について

市政全般について、情報公開、市民参加、市の関連施設のたばこ問題等について改善を要請しました。たばこの問題は環境問題であると同時に市の姿勢の問題でもあります。禁煙・分煙が取り決めされながら、決めたことがなかなか徹底しない市の行政レベルが結局コスモポリス問題の底流にあると考えます。



- ・和泉市の危機管理について(00.12)
- ・市民参加の町作りについて(01.03)
- ・行政評価システムについて(01.09)
- ・市民活動促進のために(01.09)
- ・たばこ対策について(02.06)
- ・自動車文庫について(02.09)
- ・市町村合併について(03.06)
- ・コスモポリス事件について(03.09)
- ・市民サービスの向上に向けて(03.09)
- ・地場産業の振興とまちづくりについて(03.12)
- ・弥生博物館用土地の代行取得について(04.06)

電子自治体構想について

行政の効率化にはIT化は避けて通れない課題ですが、一方プライバシーやこのメリットを享受できない人にとってはその格差いわゆるデジタルデバイドの問題があります。

特に住民基本台帳ネットワークシステムは住基カードの発行枚数の低迷に象徴されるように、無用の長物でこれに多額の費用が投入されている重大な問題があります。私は住基カード発行枚数を二次稼働以来トレースしており、今後も問題指摘を続けます。



上は住基ネット稼働後の住民基本台帳の発行枚数と公的認証サービスを受けている人の数です(H16.06 現在)。いかにこれらのシステムが市民から評価されていないかを端的に示すものです。又私は住基ネットの第4次訴訟団に加わりました。

- ・市民のための電子自治体とは(02.12)
- ・住民基本台帳ネットワークシステムについて(03.06)

マイノリティー問題

障がい者の方々など社会的弱者への支援について市に要望してきました。視覚障害者への点字や録音での選挙公報を実現、更に性差別の問題から選挙の投票はがきに性別の記載が無くなる成果をあげました。

- ・視覚障がい者への選挙公報のあり方及びサポート体制について(00.09)
- ・性同一性障がいについて(03.06)

平和問題

混迷する世界情勢にあって平和を求める気持ちは何時になく高まっています。アフガニスタンやイラク戦争に遭遇し平和の尊さを訴えるため市民ピースウォークを開催し、日本憲法を守るため「女たちの憲法キャラバン」を憲法記念日に行うなど平和の大切さのアピールを続けています。発展途上国の貧しい子ども達に少しでも支援したいと里親制度にも参加しています。



- ・平和を求める社会環境作りについて(03.03)

情報公開

前回の選挙アピールに「市民の声を議会に、議会の情報を市民に」を掲げました。これを実現するため月2回の市政相談会を開催し、市民の声を基に全ての定例会で質問を行い、議会の情報を「昌子の広場」として毎月20,000部発行し、市民の皆様にお届けしています。

又議員の報酬及び政務調査費の使途を明細を含めて全て公開し、透明な議員活動に努めています。更に時代の要請に応えるべく、当選後直ちにホームページを開設し、日頃の活動を報告すると同時に皆様



のご意見を掲示板に書き込んで頂いております。

地域との関わり

地域の皆様と出来るだけ沢山関わりを持ちたいと願って色々な事務所の行事を行っています。既に28回目を数える万葉講座、人気のちぎり絵講座、折り紙教室、更に関心が深い介護保険講座、パソコン教室と多くの講座を開催し、皆様にご好評を得ています。又地域の問題等について住民の皆様と力を合わせて改善に取り組んでいます。

- ・緑ヶ丘12m 道路沿線騒音対策
- ・緑ヶ丘東西道路開通に伴う安全対策
- ・緑ヶ丘中央交差点歩行者信号
- ・はつが野外周道路安全対策
- ・はつが野地区バス停設置
- ・はつが野里道清掃
- ・和泉中央駅花植え



小林昌子プロフィール

- ・和泉市市議会総務文教委員長
- ・環境カウンセラー
- ・生協エスコープ大阪第5次中期計画検討委員
- ・大阪府地球温暖化防止推進委員
- ・NPO 法人大阪環境カウンセラー協会会員
- ・和泉市環境くらぶ会員
- ・NPO 法人和泉女性100人委員会会員
- ・NPO 法人フォーユー企画会員
- ・和泉市アイあいロビー環境部会員
- ・高齢社会をよくする女性の会・大阪会員
- ・ゴミ減量等推進審議会委員
- ・脱ダムネット関西会員
- ・緑ヶ丘女性消防クラブ委員
- ・ホームヘルパー2級
- ・榎尾川ダムの見直しを求める連絡会前代表
- ・元生協エスコープ大阪理事
- ・元学研教室指導者